



だいじょうぶ。ともにあるこう。

(2009. 12. 1)

野村 のむら よこ 羊子

三鷹市議会議員 (会派 にじ色のつばさ)

議会報告 no.29

■野村羊子の一般質問



12月1日(火) 午後3時過ぎの予定

1 市民の命を支えるまちづくりについて

(1) 高齢者の命を支える食の確保について

ア 高齢者の日常の食事を支える施策の現状と課題について

a) ふれあい給食サービス、および毎日型配食サービスの現状と課題について

b) 在宅高齢者への食事支援に必要なサービスについて

イ 在宅の高齢者・障がい者などの食を支える今後の施策について

a) 配食サービスの今後の展望について

b) 「地域ふれあい食堂」の試みについて

(2) 市民の命を支える水の確保について

ア 三鷹市の水資源の現状と課題について

a) 日常の水源の量及び質の確保の原状と課題

b) 災害時の水源確保の原状と課題

c) 東京都水道局からの逆委託解消に伴う今後の対応について

イ 都市計画道路など都市開発に伴う水資源の影響について

a) 調布保谷線建設に伴う上連雀浄水場の水源及び配水池確保について

b) その他の都市計画道路建設および都市開発に伴う水源・地下水への影響について

三鷹市議会HPより中継・録画を見ることができます。

<http://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp/live/index.html>

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会 No.29

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-30-12-104

Tel&Fax:0422-72-2425

E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net

Url: <http://www.nomura-yoko.net>

野村羊子は、議会では会派「にじ色のつばさ」、日常は市民グループ「いっしょの会」とともに活動しています。市政について、いっしょに考えていきましょう。



■12月議会予定

11月30日(月) 開会、市政に関する一般質問

12月1日(火) 市政に関する一般質問

2日(水) 一般議案上程・説明

4日(金) 議会運営委員会

7日(月) 一般議案審議、請願陳情審議

8日(火) 常任委員会(1)*

9日(水) 常任委員会(2)

10日(木) 常任委員会(3)

11日(金) 調布基地跡地利用対策特別委員会

14日(月) 東京外郭環状道路調査対策特別委員会

15日(火) 議会運営委員会

18日(金) 委員会審査報告・追加議案上程・議会運営委員会、追加議案審議・意見書決議等審議・請願陳情審議、閉会



*常任委員会の日程は、上程された議案の取り扱いにより、4日の議会運営委員会で決定される。基本は第1日目に4つの常任委員会を同時に開催。議

案により説明員(行政職員)がダブる場合は、ずらしての開催となる。野村は、常任委員会日程を4日間にして、1日1常任委員会開催を求めているが、議会改革の議題として取り上げられていない。常任委員会の日程を事前に定めると、開会日が1日に限られ十分な審議ができないため、と説明される。通年開催をめざす自治体議会も出ている中、日程を長めに取り十分な審議を可能にすることは技術的に可能なはずだ。市民に事前に委員会日程を広報する必要性を感じていないような現状はやはり問題だと思う。地域主権というのが本来は市民主権・市民自治。議論し合い合意を作り出していける議会をめざしたい。が、まずは市民に開かれた議会。傍聴のしやすさはその第1歩ではないだろうか。

■ 文教委員会視察 (写真→)

10月20日(火) 名古屋市「情報モラル教育」

21日(水) 神戸市「特別支援教育」

尼崎市「エコスクール校舎」

22日(木) 広島市「幼保小連携」「平和学習」

駆け足で4カ所回った視察。視察廃止論もあるけれど、百聞は一見にしかず。今回印象的だったのは、「情報モラル教育」と「エコ校舎」。いずれも実地にふれたもの。「情報モラル教育」は教育委員会の担当者が、実際に教材コンテンツを作り、ゲームとして子ども達にPCを触らせながら授業を進めていく。実際に体験させてもらって、よく考えられており、簡単に教員が使えるように工夫されていると感心した。また、「エコ校舎」も、ハザード庇の太陽光発電や、クラスで管理する屋上の芝生と菜園。さらには川のヘドロを生ごみ乾燥機で堆肥化しようという試みまで、あれこれと工夫しており、参考になった。



(3階から見た2階の屋上庭園と庇の太陽光発電)



(菌床前にごみを降ろすパッカー車)

■ 生ごみ堆肥化施設視察 (写真←↓)

10月23日、埼玉県久喜宮代衛生組合を視察。ここは、HDM方式の生ごみ処理方法を実施中。木材チップにHDM菌を混ぜ粉砕した生ごみを混ぜ込む。24時間で生ごみは水分と気体(炭酸ガスと窒素ガス)に発酵分解し90%消滅するという。悪臭もなく、できた堆肥の処理に困ることもない。好気性の菌なので、床に空気の吹き出すブローア-をつけ、パワーシャベルでかき回す。月に一度菌を投入し、発酵を継続させる。床から取り出してふるいにかければ堆肥として使えるそうです。

また、剪定枝も太い枝は、チップ状にしてマルチング材として使用、葉のあるものは細かく粉砕し、それだけで熟成させて堆肥としている。燃やすごみを有料化した三鷹市では、剪定枝や落ち葉は別袋で無料で収集することになった。せっかく分別されて出てくるのだから、燃やしてしまうのではなく循環させて欲しい。粉砕器設置は有料化収入を充てれば簡単に購入できるものだと思う。



(杉の剪定枝を粉砕器にかける)



■ エコサイクルみたかワークショップ (写真←)

11月7日、段ボールコンポストのワークショップに参加。ピートモスと籾殻燻炭に好気性の菌の力を利用して、生ごみを分解・消滅させようというもの。段ボールを使うことで水分を箱本体から発散させ、毎日かき混ぜることで分解を促す。当日作成した段ボールコンポスト、顛末やかに。

■ ふじみ新ごみ処理施設、建設及び運営事業者決定。

応札した3社から総合評価で選定されたのは、JFEエンジニアリング株式会社。当初の組合の予定価格より大幅に低い価格での落札となった。これから協定内容を詰め、2月のふじみ組合議会の議決を経て契約の予定。ごみ焼却プラントはストーカ炉で安定的だが、高さ100mの煙突や熱回収のシステムなど20年間の運営状況を見越した契約が可能なのか。注視していきたい。